

スクールマネジメント実践報告書

03 南本町小学校

地域とともにある学校づくり

小中一貫教育の実践（教育活動の方向性）

中学校区の目指す子ども像	共生「他者を尊重し、多様な人たちと協働しながら社会の変化を乗り越え、幸せな人生をつくる力」を身に付けた生徒
我が校の目指す子ども像	思いやりをもち、進んで学ぶ子



小中一貫教育の具体的な取組		
	我が校の取組	中学校区の取組
実現に向けた重点的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 協同的な場面が生まれる授業づくり 共感的に聞き合うスキル向上のための SST を全学級で実施（全校学びタイム） 関わり・認め合い・振り返りを大事にした学級・学校づくり 人権意識を高める部落問題学習、人権教育の授業実践 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもや地域の実態に即した小中9年間の一貫した教育課程の編成 「地域子どもを育てる会」と連携した中学校区の健康課題に基づいたリーフレットの作成、継続的な健康教育や食育の実施 人権教育、同和教育の授業公開
	成果○と課題■	成果○と課題■
	<p>○18回の全校学びタイムや、全学級で関わる場面を取り入れた授業実践を積み重ねたことにより、より主体的・対話的に学ぶ子が増えた。</p> <p>○学校評価後期児童アンケートでは、「自分や友達にはいいところがある」という項目の肯定的評価が約97%であった。</p> <p>■学校評価後期児童アンケートの「自分が好き」という項目の肯定的評価は73.8%であった。より多くの肯定的フィードバックを返すことにより、自己肯定感を高めていく。</p>	<p>○自己理解、他者との関わり、学習習慣の3つの観点から、小学校卒業時の目指す子ども像について検討し、共通理解を図った。</p> <p>■小学校から中学校への切れ目のない教育の実現に向けて、中学入学時に背伸び感が出ないように、高学年の目指す姿についての検討を必要に応じ、行っていく。</p>

〈夢・志チャレンジスクール事業の取組（地域とともにある学校づくり実践）〉

取組の概要	主な活動内容	
生活科や総合的な学習の時間を中核として、各教科や領域で身に付けた資質・能力を地域で発揮する学びの場を工夫することで、「自尊感情や自己肯定感を高めながら自信をもって挑戦する姿」「地域(ふるさと)への愛着を高める姿」を目指した。そのために、どの学年も、コロナ禍で制限がある中ではあったが、地域の人・もの・ことと関わる体験活動を実践した。	生活科	「なんでもチャレンジ！」（2年）
	総合	「青田川 ～触れる・調べる・守る～」（4年）
	総合	「創り手 ～造・作・創～」（6年）
学校運営協議会の評価 同じ場所に学年が変わって訪れると、新たな学びもあると思うが、子どもたちにとっては新鮮な活動ではないようだ。そういう点で、今年度は味噌づくりや染物体験など、今までにやったことのない活動に取り組んでいた学年があり、子どもにとって魅力的な活動になったと思われる。	夢・志チャレンジスクール事業の取組は、目指す子ども像の実現に有効であった	
		当てはまる
	○	どちらかという当てはまる
		どちらかという当てはまらない
	当てはまらない	

スクーリズムマネジメント実践報告書

学校運営協議会の活動内容

学校運営協議会の委員の構成									
教職員	1人	保護者	4人	住 民	7人	その他	1人	合計	13人
学校運営協議会の回数 ※（ ）は、回数内における紙面協議回数	学校単独	1学期	2回 ()	2学期	回 ()	3学期	1回 ()	合計3回 ()	
	中学校区合同 ※中学校区で同数にする	1学期	回 ()	2学期	回 ()	3学期	回 ()	合計0回 ()	

活動の内容	成果○と課題■
<p>・生活科・総合的な学習の時間について、1学期の活動を振り返り、2学期以降の活動の構想を検討する会を、学校職員と学校運営協議員が合同で行った。</p>	<p>○学校運営協議員の、地域住民ならではのアドバイスや、専門性を生かしたご指導により、2学期以降の生活科・総合的な学習の活動の選択肢が増え、どの学年も充実した学習を展開することができた。また、学校職員と学校運営協議員が直接意見交換をするよい機会となった。</p> <p>■感染症対策により、学校運営協議員が学校を訪れる機会が当初の予定よりも減ってしまった。コロナ禍における活動の仕方を検討していく必要がある。</p>

総 括
<p>○コロナ禍で委員が学校を訪れる機会が減っている。リモートによる会議や活動の配信など、協議会の運営や活動の仕方を工夫していく必要がある。</p> <p>○地域と学校との交流は大事にしていくべきであり、そのためにも、今年度実施した「青田川灯りロード」のように、地域と学校が連携する行事や取組を、今後も大切にしていきたい。</p>

〈活動写真〉



○2年生は、「育ててみたい」「行ってみたい」「作ってみたい」など、子どもたちから生まれてくる発想を大切に、畑での栽培活動、町探検、生き物の採取・飼育などに挑戦しました。



○4年生は、青田川にすむ生き物に興味をもち、どんな環境でどんな生き物が生活しているのかを調べる活動をしました。活動を通じて、身近な環境問題を実感することができました。



○6年生は「ものづくり」をテーマに、職人とふれ合ったり物作り体験をしたりしてきました。活動を通じて、本当の豊かさとは何かを問い直すとともに、今後の自分の生き方について考えました。